



医療の未来 君の手に

地方で医師が不足している。将来の担い手を育てようと、各地で夏休み中の中高生を対象に医療セミナーが開かれている。

「簡単に切れてびっくり」。鶏肉を使って超音波メスを入れた中学生が驚きの声を上げる。神戸市灘区の神戸海星病院が3日、ジョンソン・エンド・ジョンソンと共催したセミナーのひとつはまだ。参加した八木恋さん(14)は「昔、手術前に優しい言葉をかけられほっとした経験がある。将来、自分もそんな医師にな

医師⑤の手ほどきで、中学生が超音波メスの使い方を学ぶ(3日、神戸市灘区)

夏休み 中高生が手術体験

れたら」と夢を話す。

自治体も活動に熱を入れる。北海道は9日、札幌医科大学と旭川医科大学が協力し3泊4日の合宿を開いた。83人の参加者が人工皮膚を使った縫合手術などに取り組んだ。

夏休み明けにセミナーを続けるところも。最新鋭の手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作が体験できるのは香川県の高松赤十字病院。高校生が映像を見ながら模擬手術する。西村和修副院長(61)は「地元の学生と医師の交流が大切。地域医療を支える人材が生まれてくれたら」と期待する。

(写真・文 小高頭)